

課題

【中・数学】学習の見通しを持ち、生徒が主体となって解決を図る

手立て

- 学習内容等に合わせて、①から③の内容を授業改善の視点としましょう。
全ての内容を実践することが重要ということではありません。生徒の実態に照らし合わせ、ポイントを絞って授業改善を図りましょう。

POINT① 提示した学習課題から、生徒が疑問をもったり、問題を発見したりするような場面を設定する。

POINT② どのようなところに着目したらよいか、どのような考え方が活用できるか意見を出し合う。

POINT③ 解決の方法を共有したり、話し合ったりする。

- 学習の振り返りに生かせるよう、生徒の意見やつぶやきなどを可視化しましょう。
(黒板に書く、ICTを活用するなど)

具体例

POINT①

- 生徒が抱えている疑問を引き出したり、学習問題の発見につなげたりするよう、疑問を工夫する。

数量の変わり方に規則性がありますか？



- 多様な考え方や学習方法があると想定される場合に、生徒一人一人が解決の方法を選択できるようにする。

POINT②

- 既習内容を振り返り、どのようなところに着目するとよいか、これまでの考え方が生かせないか、意見を出し合う。

前回の学習では、数量の変わり方を、表を使って整理したけど…



- 仮説を立てたり、答えを予想したりして、解決後の振り返りにつながるよう配慮する。

POINT③

- 一人一人で学ぶ場面でも、意図的に協働的な場面を設ける。
○皆で学ぶ場面でも、個々の学びが深まるような工夫を行う。